

第 1 3 回教育委員会会議録

日 時	平成 26 年 12 月 25 日 開会 13 : 30～閉会 15 : 40
会 場	教育長室
出 席 者	山 田 律 子 委員長 佐々木 義 朗 委員 阿 部 弓 枝 委員 明 石 光 正 委員 宮 崎 肇 教育長
参 与	西 本 隆 史 教育部長 島 倉 弘 行 教育部次長 西 野 典 男 教育部次長（学校指導担当） 藤 木 健一郎 企画総務課長 渡 邊 誠 司 学校教育課長 加 賀 屋 勝 生涯学習課長 内 山 匠 文化施設課長
書 記	堀田 企画総務課総務係長
議題及び 議事の概要	別紙のとおり

議題及び会議の概要

委員長	<p>ただ今から、平成 26 年第 13 回教育委員会会議を開催いたします。</p> <p>議案第 1 号平成 26 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の公表について及び議案第 2 号平成 26 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載については、意思形成過程途中のため、秘密会といたします。</p> <p>また、報告事案の追加についてであります。報告第 5 号として桜木小学校における集団食中毒の発生についてを追加いたします。</p> <p>秘密会の件、報告事案の追加の件についてよろしいでしょうか。</p>
委員	一同了承
委員長	それでは、会議録の承認をお願いいたします。
総務係長	<p>前回、11 月 25 日に開催されました第 12 回教育委員会会議は議案が 4 件、議案第 1 号平成 26 年千歳市議会第 4 回定例会教育行政報告について、議案第 2 号千歳市いじめ問題専門委員会委員の委嘱について、議案第 3 号千歳市公の施設の指定管理者の指定について（千歳市立図書館）、議案第 4 号千歳市公の施設の指定管理者の指定について（千歳市民文化センター・千歳市民ギャラリー）、いずれも原案通り議決されております。</p> <p>また、報告は、報告第 1 号第 20 回千歳市・指宿市青少年相互交流事業（受入事業）の実施について、報告第 2 号平成 26 年度補正予算について、報告第 3 号平成 27 年度千歳市教育予算要望について、報告第 4 号平成 27 年度教育予算要求状況について、報告第 5 号教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施結果について、以上 5 件であります。</p>
委員長	会議録承認の件よろしいですか。
委員	一同了承
委員長	それでは、教育長から報告をお願いいたします。
教育長	<p>平成 26 年 12 月 5 日に行いました定例校長会でお話した内容についてであります。</p> <p>1 点目は、第 4 回定例市議会の質問事項についてであります。学校の適正規模、学力テスト、指導及び補導員の現状と対策、不登校児童生徒の現状と対策、教育委員会制度の改革、総合的な学習の時間における起業家教育、35 人学級についての質問がありました。</p>

	<p>2点目は、服務規律の保持及び自動車の安全運転の徹底ということで、冬道の運転について細心の注意を払うこと、教育公務員としての自覚と相応しい行動をとるよう、また、このところ市内教員による追突事故が続けて発生しており、管内においては管理職による人身事故が発生していることから、運転には十分に留意するようお話したところです。</p> <p>3点目は、各種研修会についてですが、石狩教育研修センターや各市町村の教育振興会等において様々な研修等が実施されているが、参加者は坦外の教員が多い状況が見受けられるため、担任が参加しやすい体制づくりが必要。また、研修を受けた教員が自校に戻ってその内容を他の教員と共有することも重要であり、研修の目的はその成果を業務に活かすことであるので、しっかり取り組んでいただきたいとお話をしました。</p> <p>4点目は、小中学校司書派遣事業における平成25年度結果報告及び26年度中間報告のなかで、廃棄による図書の新陳代謝が進まないことから、購入計画が立てられず、蔵書の充実に影響が出ていることや除籍本処理計画及び蔵書購入計画を立案する必要があるとの報告がありました。今後、教育委員会において対応を検討することとしました。</p> <p>また、司書が派遣されるようになって、児童生徒が図書館へ頻繁に足を運ぶようになった、あるいは積極的に授業に活用する学校が多く見受けられる反面、図書室の談話室化や依然として授業に活用していない学校があるとの指摘がありました。</p> <p>学校図書館の運営方針等について、配置司書が教頭及び司書教諭と協議や連絡調等を行う場面において、学校側との調整時間が確保できず、その結果、図書館運営支援が不十分なまま配置期間が終了してしまう。あるいは、図書室担当教諭の引継ぎが十分でないケースでは、配置司書に学校図書館の運営を一任している学校もあるとの報告があったため、各学校においては司書教諭を中心に図書館運営にしっかりと取り組んでいただきたいとのお願いをしました。</p> <p>私からは、以上であります。</p>
委員長	教育長からの報告についてご質問等ございませんか。
委員長	司書教諭の配置基準はどのようになっていますか。
教育長	12学級以上の学校に配置することとなっています。
委員長	司書教諭が、司書の業務を十分に行えないのが現実なのかと思いますが、学校の経営方針のなかでカバーできればと思います。
委員長	それでは、議案第1号と第2号を一括して説明願います。

委員	一同了承（秘密会：原案可決）
委員長	次に報告第1号をお願いします。
生涯学習課長	<p>報告第1号、平成27年成人式はたちのつどいの開催についてご報告申し上げます。</p> <p>今年度も、成人の日の制定趣旨を目的とした式典を明年1月11日の日曜日に開催いたします。</p> <p>なお、祝日である成人の日を含む3連休の中日の実施は、昨年度に引続いての開催となります。</p> <p>今年度は平成6年度に出生した方々が対象となり、11月末時点での住民基本台帳登録者数で、1,281人と、前年に比べ43人の増となっております。</p> <p>新成人代表のお二人は、新成人と市民団体等と行政が協働するはたちのつどい協働会議の新成人メンバーの中から立候補で決定されました。</p> <p>なお、はたちのつどい協働会議についてですが、昨年度から、新成人にとってより心に残る行事となるよう協働会議を設置しており、公募による新成人のほか、市民団体の方々とともに事業の企画を行っております。</p> <p>今年度は7人の新成人と市民団体の方にお集まりいただき、4回の会議を重ねて準備を進めて参りました。新成人は全員生粋の千歳っ子で、友人と一緒に参加した方や一人で参加した方がおりますが、会議を通して交流を深められたと聞いております。</p> <p>協働会議では、新成人が中心となって、中学校時代の恩師のメッセージを録画したビデオレターや、当時の給食メニューや写真などの展示、また新成人の小学1年生時の身長などを掲示した幼き頃の身長体験を企画しました。また、式典終了後の新成人の広場、抹茶の振舞い、着付け直しなどは市民団体の方々の協力により実施いたします。</p> <p>以上でございます。</p>
委員長	<p>昨年から協議会形式で行っておりまして、それぞれある程度の手ごたえがつかめたころかと思いますので、今年も期待できるところであります。</p> <p>報告第1号についてご質問等ございますか。</p> <p>報告第1号（報告済）</p>
委員長	次に、報告第2号の説明をお願いいたします。
文化施設課長	報告第2号、平成26年度小中学校司書配置事業に係る中間報告についてご

報告申し上げます。

学校図書館の管理運営に対する支援を行うことにより、学校図書館の環境を整備し、子供たちの読書活動の充実を図ることを目的に、学校に司書を配置しておりますが、市内 24 の小中学校への配置が一巡しましたことから、学校司書からの報告に基づき、これまでの実施状況についてご説明いたします。

学校司書は、各学校図書館が抱える課題解決のため、専門知識を活かし、司書教諭や学校図書館で活動する図書ボランティア等への支援を行っております。

次に、学校図書館の現状について、今年度は司書配置期間の延長により、これまでのところ図書の貸出・返却など図書館利用における基本的なルールの徹底や、図書の除籍、分類整理に着手しており、学校図書館の環境が徐々に整備される状況となっておりますが、授業における活用や調べ学習の取組みにおいて、改善が必要な状況も報告されております。

次に、課題についてであります。標準冊数を維持するため積極的な除籍が実施できず図書の新陳代謝が進まない。表示や案内図の掲示が不足しており清掃の回数も少ないため図書館内の雰囲気 気がよくない。新たに図書を購入する際の選書に困っている。修理や買い替えが必要な本が配架されたままとなっている。探している本がどこにあるのか分かりにくい。授業における積極的な図書館利用が不十分との 6 つの事項が確認されており、それぞれの課題について、蔵書リストのデータ整備と除籍本処理計画及び蔵書購入計画の作成支援。ボランティアや図書委員の役割を明確化し担当教員も含めそれぞれが連携しながら装飾やレイアウトや清掃計画の作成など図書館環境を整備。蔵書リストのデータ整備を実施し蔵書構成の偏りが無いよう計画的に図書の購入を行う。教員・ボランティア・図書委員への修理講習の実施、図書を分類順に整理し返却ルールを明確化させる。調べ学習等で活用できる図書の選書アドバイスや市立図書館の団体貸出制度の利用促進。などの対策を立て学校司書による継続的・重点的な改善を図っておりますが、配置された司書だけでは対応できない課題もありますので、学校と教育委員会がそれぞれ役割を分担しながら、今後も学校図書館機能の充実・向上に取り組んでまいりたいと考えております。

報告第 2 号につきましては、以上であります。

委員長

報告第 2 号についてご質問等ございますか。

教育長

これに限らないのですが、今年度の事業については年度内に報告書の提出、例えば、この図書館司書の配置についてもどういう活用をしたのかということ各学校から聞き取るなどして報告してもらうことを考えています。

電子黒板や学習支援員の活用状況など、いくつかの主要施策について検証し

	て課題を見つけて次年度に繋げていきたいと考えております。
阿部委員長	除籍本を決めるのは学校ですか。
教育長	学校の司書教諭が中心に行っています。
委員長	教育委員会で学校図書館の所管は文化施設課ということによろしいのですか。
教育長	派遣の事業は、市立図書館との連携ということもありますので文化施設課で行っていますが、本来は学校教育課、それから、本の予算については企画総務課ということになります。
	報告第2号（報告済）
委員長	次に、報告第3号の説明をお願いいたします。
企画総務課長	報告第3号、小中学校における読書週間の取組状況についてご報告申し上げます。 小中学校における読書週間の取組状況ですが、はじめに、読書週間とは、文化の日を挟んだ前後1週間ずつの10月27日から11月9日までの2週間にわたり、読書を推進する行事が集中して行われる期間であります。 市内小中学校における読書週間の取組状況ですが、小学校17校中、13校が実施しており、中学校では9校中2校が実施しております。 各学校の取組期間及び内容については、資料のとおりであります。主な取組みといたしましては、全ての学校で朝読書を行っております。 また、教職員やボランティアによる読み聞かせやおすすめ本の紹介などを行っております。 読書週間以外の読書推進に関する取組状況では、学校図書館の地域開放やボランティアによる読書推進を行っております。
委員長	ありがとうございました。 4月に読書の日という国あげての習慣がございますが、この読書週間は後期が始まってすぐということや部活が忙しいということもあり、中学校では動きにくいのかということも考えられます。
次長（学校指導担当）	全校一斉読書活動を毎日行っている学校が多く、読書週間に特化して取り組むということが少ないと考えられます。

佐々木委員	子どもの本離れが進んでいることもあります。
阿部委員	本のおもしろさを発見するためには、まずは手に取って読むことしかないですから、そこまでの状況はつくってあげたいと思います。
明石委員	教育委員会から学校に対して話はしているのですか。
次長（学校指導担当）	朝読書や家読書まで呼びかけをしている状況であり、中学校では毎日、朝読書に取り組んでいて、一時間目は落ち着いた雰囲気の中で授業に入れるということをお聞きしております。
委員長	報告第3号（報告済）
企画総務課長	次に、報告第4号の説明をお願いいたします。
	<p>報告第4号、教職員住宅の整備に関する基本方針についてご報告申し上げます。</p> <p>教職員住宅の多くは、建築後25年を経過し老朽化が進み、部分的な改修等を実施しているものの、入居者の居住環境は年々悪化してきております。また、近年は道路網や公共交通機関の充実などにより交通アクセスが大きく改善され通勤事情など教職員住宅を取り巻く住宅事情も変化してきております。</p> <p>このことから、今後の教職員住宅の整備につきまして、平成24年度に出された「教職員住宅在り方検討委員会」の結果や庁内打合せ会議の結果及び管内他市の状況などを総合的に判断し、基本方針を策定しました。</p> <p>管理職住宅ですが、平成27年度から築22年を超える住宅の躯体や設備面などの状態を確認した上で、老朽化の著しい住宅から順次廃止し、1校1戸とします。</p> <p>具体的には、廃止予定の住宅に居住している管理職に意向を確認し、居住を希望すれば異動するまでの間は住宅として活用し、築22年前であっても、多額な修繕が必要な場合は廃止とします。</p> <p>また、廃止となった住宅の管理職は、市外通勤を認めることとします。</p> <p>参考までに、管内他市における廃止後の市内居住要件については、石狩市は「市内居住を求めている」、恵庭市は「概ね20km以内は、市内居住を求めている」、多くの管理職が自宅を所有している北広島市と江別市では「市内居住を求めている」という状況にあります。</p> <p>残る管理職住宅は、躯体や設備面などの状態を確認し、建替え又はリフォームを計画的に行うこととします。整備手法は、リース方式など財政負担を平準化</p>

	<p>する手法を検討します。</p> <p>具体的には、築 22 年を超えている住宅については、躯体や設備面を確認し、計画的に建替えを行います。築 22 年を超えていない住宅については、財政負担を軽減するため、計画的にリフォームを行い、長寿命化を図り、概ね築 35 年から 40 年で躯体や設備面を確認し、建替を行うこととします。</p> <p>建替え後は、築 15 年で外壁・屋根のリフォームを行い、築 22 年で設備等のリフォームを行い、概ね築 35 年から 40 年で躯体や設備面を確認し、建替えを行うこととします。</p> <p>へき地の管理職住宅は、現状どおり 1 校 2 戸とし、公立学校施設整備費補助金を活用し、計画的に整備します。</p> <p>次に、一般教職員住宅ですが、北栄教職員住宅は、平成 26 年度末で教職員住宅としての用途を廃止し、他の公共用途として活用しない場合は、速やかに売り払うこととします。</p> <p>定住促進の施策として、一般教職員住宅を新たに整備するということがあり、整備手法は、民間を活用し財政負担が軽減される手法を検討してまいります。整備の仕方については、今後市長部局と協議をして決めていくこととなりますが、大規模な集合地住宅を建設するのか、または、中規模を複数建設にするのかといった建設手法を検討していくこととなりますが、教職員の意向調査を行いニーズを確認しながら進めてまいります。</p> <p>次に、東雲教職員住宅は、現状のまま維持管理し、老朽化が著しい時点で廃止とします。東雲教職員住宅は、一般教職員住宅を新たに整備することから、大規模改修は行わず、現状のまま維持管理することとします。</p> <p>次に、へき地の一般教職員住宅は、管理職住宅と同様に補助を活用し計画的に老朽化の著しい住宅から計画的に整備することとしております。</p> <p>今後の整備スケジュールの案ですが、管理職住宅は 27 年度から順次 1 戸ずつ建て替えをできればと考えております。</p> <p>また、一般教職員住宅は 27 年度に売り払いを予定しております。定住促進の施策として新たな教職員住宅を建設していくという部分につきましては、27 年度にニーズ調査を行い、規模・整備手法を検討することとしております。</p> <p>へき地教職員住宅は 27 年度と 28 年度にニーズ調査と規模・戸数を決定し、29 年度から準備整備を行っていきたいと考えております。</p> <p>委員長 教育長</p> <p>報告第 4 号についてご質問等ございますか。</p> <p>管理職住宅への居住については、慣例的に居住いただいておりますが、憲法で居住の自由が認められていますので強制はできません。</p> <p>道内でも大きなまちでは管理省住宅がないということがあり、また、まちによって住宅の整備の在り方に違いがみられます。</p>
--	---

	<p>千歳市は石狩管内の南端ですので、物理的に北部から通うことが困難であり需要があるということ、また、定住促進という考え方が市の施策としてでてきているので、このようなことを踏まえて1戸残しということにしたところでは。</p> <p>報告第4号（報告済）</p>
委員長	<p>次に、報告第5号の説明をお願いいたします。</p>
学校教育課長	<p>報告第5号、桜木小学校における集団食中毒の発生についてご報告申し上げます。</p> <p>発生状況であります、桜木小学校2年生2クラスが、生活科の授業においてジャガイモを学校敷地内で栽培し、9月に収穫したジャガイモを12月19日の2年生のフェスティバルで、保護者や地域住民、1年生に提供しております。</p> <p>3時間目に1年生、保護者、地域の方々が食べ始め、フェスティバル終了後の11時半頃に2年生が食べ始めましたが、その頃から1、2年生の児童のうち数名が腹痛・嘔吐の症状を訴え始め、給食が始まる前頃から腹痛・嘔吐を訴える児童が保健室に集まり、その後も続々と同様の症状の児童が増えてきたという状況でございました。</p> <p>1、2年生の児童112名のうち109名が食しております。</p> <p>行事の内容ですが、2年生が、保護者や地域、1年生を招いて、今年生活科で学んだことを発表し、楽しんでもらうフェスティバルを開催したなか、じゃがいもコーナーがありました。</p> <p>じゃがいもの調理は、教職員3名と保護者6名程度が家庭科室で行い、その内容は、レシピに基づき、事前に収穫したじゃがいもを洗い、大きいものは2等分か3等分に切り、皮がついたまま、塩ゆでにしたものであります。</p> <p>児童の病院搬送状況ですが、13時1分に児童2名を救急車で市民病院へ搬送、14時7分に児童1名を救急車で市民病院へ搬送、15時20分に児童2名を救急車で市民病院へ搬送しております。</p> <p>このほかに、桜木小学校に出向いた市民病院の医師の判断により、児童20名を順次、市の公用車で市民病院へ搬送しております。</p> <p>救急搬送した児童5名と合わせて合計25名の児童を、学校から市民病院へ搬送し、その内、2年生男子2名が入院しておりますが、翌日の朝9時前に退院しております。</p> <p>千歳保健所からの報告内容であります、12月24日午前10時に教育委員会で報告を受けた内容ですが、平成26年12月19日に同校で喫食したジャガイモを調査した結果、調理前及び調理後のジャガイモからソラニンが検出され</p>

	<p>たこと及び発症の状況などから、当該行事で提供されたジャガイモを原因とするソラニンによる食中毒と断定したとの内容であります。報告時における有症者数は児童 77 名と保護者等 12 名の合計 89 名でありましたが、本日 9 時に児童 1 名が増え、90 名になったとの報告を受けております。</p> <p>ソラニンによる食中毒の症状につきましては、腹痛、嘔吐、嘔気、しびれ、めまい、喉の痛み等であり、これらの症状がある方につきましては、受診の有無に係わらず、有症者であるとのこととあります。</p> <p>病因物質であるソラニンの調査については、道立衛生研究所で、調理前、調理後のジャガイモ 3 検体について、皮及び可食部の検査をした結果、すべてからソラニンが検出されたということとあります。</p> <p>本日、全校に対しまして、食品の安全衛生の徹底の通知を行った際に保健所が同校に対して指導した文書を添付して、通知を行ったところであります。</p> <p>今後におきましては、学校、保健所と連携しながら、最終的な人数の把握などを行い、市教委としての対応を検討してまいりたいと考えております。以上でございます。</p>
教育長	<p>今後の対応といたしましては、各校に食品の安全衛生の徹底の指導と注意喚起を行ってまいります。</p>
委員長	<p>報告第 5 号についてご意見やご質問等ございますか。</p>
佐々木委員	<p>自分たちでジャガイモをつくり、収穫祭を行い自分たちで食するというイベントは多く実施されていると思いますが。</p>
教育長	<p>生活科の科目の中で、こういった取り組みも文科省では推奨されております。食育という観点からもこうしたイベントを全て取り止めるということにはならないと考えております。</p>
佐々木委員	<p>ソラニンについては大人でも認識が充分でないということもあるのではないのでしょうか。</p>
委員長	<p>保健所からの指導はどのような内容だったのでしょうか。</p>
学校教育課長	<p>栽培については、ジャガイモが地面から外に出ないように土寄せをする。十分に熟して大きくなったジャガイモを収穫する。収穫時にジャガイモに傷をつけない。</p> <p>保存については、収穫後は新鮮なうちに食べなるべく長期間保存しない。保存する場合には冷暗所で保存する。</p>

<p>教育長</p>	<p>調理については、発芽していたり緑色の部分があるジャガイモは使わない。イモの芽が出る部分は確実に取り除く。新鮮なイモでも小さいものや地中の浅いところにあったものはソラニンを多く含むことがあるので避ける。</p> <p>この3点について、保健所から同校に対して指導がありました。</p> <p>具体的に話を聞きますと、栽培については地域の方々が協力してくださっておいりましたので土寄せについては問題はなかったのではないかと思います。</p> <p>また、収穫後もイモを土に埋めておりました。</p> <p>12月1日にイモを乾燥させるために土から出し、24日の調理までの保管期間に問題があったのではないかと思います。光が当たると毒素が増加しやすいということがあるようです。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>保健所の検体のなかでソラニンが一番多く含まれていたものは、100グラム中47ミリグラムという数値が出ていたのですが、ソラニンの食中毒については体重50キログラムの大人で100グラム中50ミリグラムを超えると中毒の恐れがあるとのことですが、子どもについては身長や体重にもよりますが大人の10分の1から発症の恐れがあるということでございます。</p>
<p>委員長</p>	<p>多くの方々にご心配をおかけしたかと思いますが、再発防止に向けて今後は細心の注意を払っていただきたいと思います。</p> <p>その他、ご質問等ございませんか。</p>
<p>委員長</p>	<p>報告第5号（報告済）</p>
<p>委員長</p>	<p>次第のその他で何かございますか。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>来年の1月6日から13日までの6泊8日の日程で、中学生12名と引率者4名の合計12名でアンカレジ市のミアーズ中学校を訪問し、交流事業を行います。</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは、本日の会議を終了いたします。</p> <p>ありがとうございました。</p>